

●社会福祉法人α Version 7.703

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista 搭載機へのインストールは不可となっています。

- ◆ Atlas の通信・移動に伴う改良を行いました。
※移動元と移動先で同一バージョンのプログラムを使用してください。
- ◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“社会福祉法人db（VERSION:7.703）の変更点”を参照してください。

社会福祉法人 d b (VERSION:7.703) の変更点

原票会計マスター&データ移動の改良について

- ・原票会計マスター（本来スキャナ上手くんαシリーズで扱えるマスター）を抽出できるように対応しました。

※移動元と移動先で同一バージョンのプログラムを使用してください。

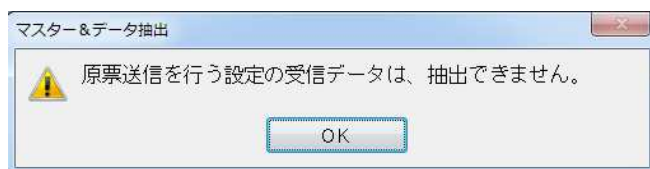
I. 通信・移動

【経理上手くんαシリーズとやり取りするための条件】

①原票イメージ保存：行う 原票イメージ送信：行わない の設定であること。

- ・原票イメージ保存を行うマスターで、経理上手くんシリーズとデータをやり取りすることができるのは、原票イメージ送信の設定が「行わない」のマスターです。

原票イメージ送信の設定が「行う」の設定の場合は、経理上手くん側で抽出時、下記のメッセージが表示され、抽出できません。



②原票管理番号が一致していること。

- ・原票管理番号とは：会社登録の原票イメージ保存の設定を行うにした際、マスターごとに付与される管理番号のことです。

経理上手とのデータ及びマスターのやり取りでは、原票は移動しません。データ移動の場合には仕訳と、その仕訳に関連付いている原票の管理番号が、マスター移動の場合は追加で原票管理番号が移動します。

※データ移動の場合、基本的には原票管理番号が一致していない場合は、抽出が行えません。

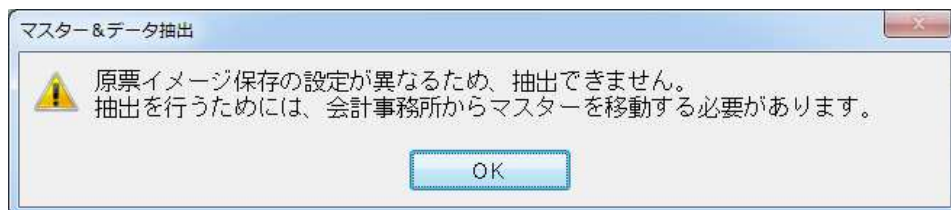
例外的に、やり取りの後、会計事務所が原票イメージ保存を行わないに切り替えた場合は抽出可能としています。

そのため、データのやり取りを行うためには、初回に必ず会計事務所から、原票イメージ保存を行う設定のマスターを移動する必要があります。

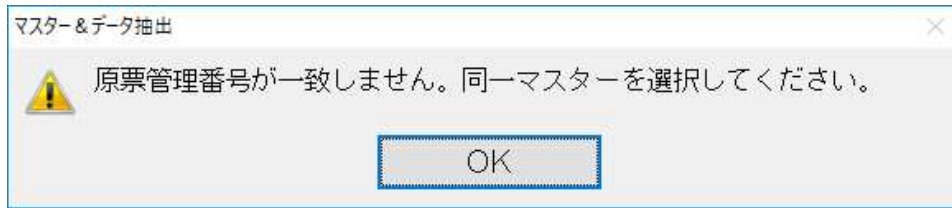
※事務所から顧問先へマスターを移動する場合、タイミングによっては科目や摘要等の情報が上書きされること、送信済みになっているが、まだ事務所で抽出できていない仕訳が消える場合があること等を考慮し、バックアップを行ってから処理する等、十分に注意が必要です。）

- ・原票管理番号が経理上手側に存在しない、もしくは存在しても不一致の場合、以下のようなエラーメッセージが表示されます。

経理上手くんα側のマスターに原票管理番号が存在しない場合



原票管理番号が不一致の場合



- ・マスター&データ抽出業務で、マスターを上書きで抽出した際、「原票イメージ送信」の設定を上書きしないように対応しました。

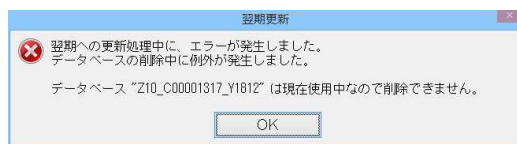
改良・修正

I. 導入・更新

1) 翌期更新

① 勘定科目内訳書

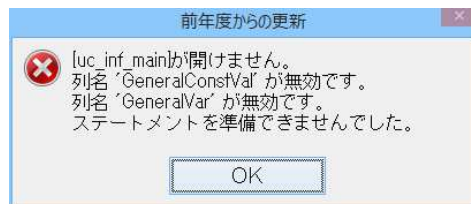
- ・勘定科目内訳書マスターが、正常でない（マスターバージョンが古かったり、不正なマスター）場合でも更新時に「確定」処理を行っていたため、下記のエラーを表示し、更新が終了していたのを修正しました。



2) 前年度からの更新

① 勘定科目内訳書

- ・勘定科目内訳書マスターが、正常でない（マスターバージョンが古かったり、不正なマスター）場合でも更新時に「確定」処理を行っていたため、下記のエラーを表示し、更新が終了していたのを修正しました。



3) データ抽出

- ・抽出先マスターと抽出対象マスターの間に矢印を表示しました。



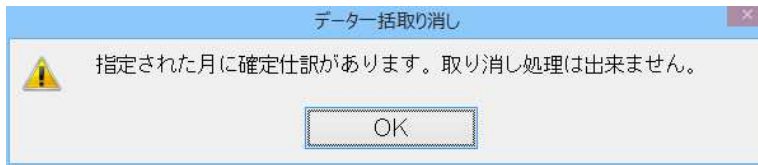
- ・ツールバーの左から4番目の名称が空白で機能が設定されていないが、マウスクリックすると、メニューバー（ファイル、表示）/ツールバー等が表示されなくなっていたのを修正しました。



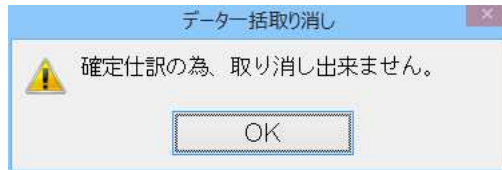
4) データ一括取り消し

- ・通信移動により確定となった仕訳は、仕訳確定処理で確定仕訳にした場合と同様、データ一括取り消しの対象外となるように変更しました。

[月指定データ取り消し F7] の場合。



[連続 SEQ データ取り消し F8] [指定 SEQ データ取り消し F9] の場合。



II. 登録・入力

1) 仕訳入力

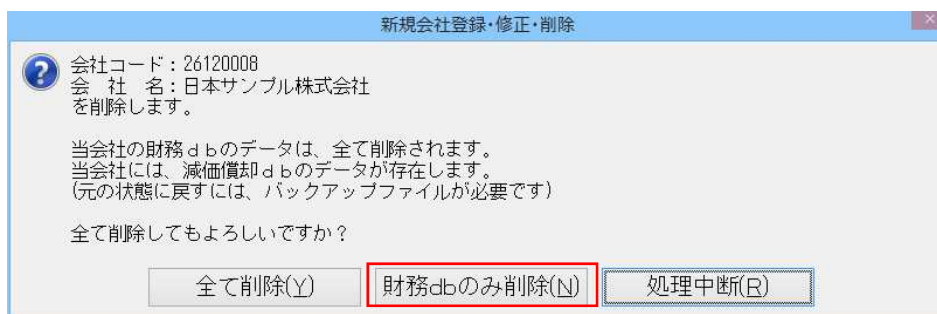
- ・マルチウィンドウ有効→マルチウィンドウ画面を縦に伸ばして使用している場合
通常入力で貸方の枝番を間違えて入力すると枝番未登録になり、「いいえ」を進めると本来は金額欄に移るカーソルがそのまま貸方欄にカーソルが残り、科目と枝番を入力し直すとその入力表示科目番号と枝番が金額に入っていたのを修正しました。

2) 科目日計 (集計) 表

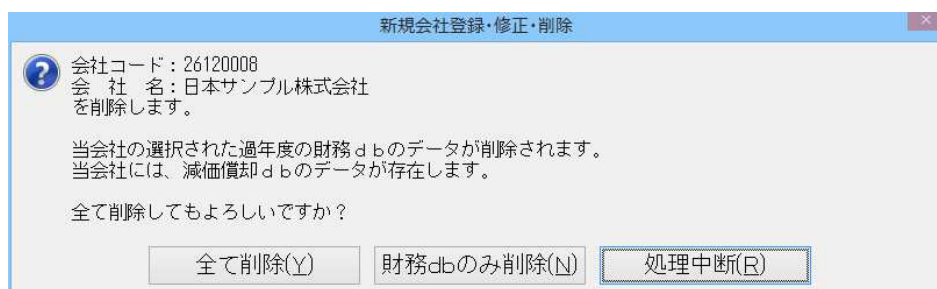
- ・部門 [全明細部門出力] 選択時、[F3 Excel 出力] を行うと、「指定されたデータがありません。」と表示されていたのを修正しました。印刷・プレビューは問題ありません。

3) 新規会社登録・修正・削除

- ・[F8 会社削除] で減価償却 db と同居している社会福祉法人 db マスターにおいて、財務 db マスターのみを削除する機能を追加しました。

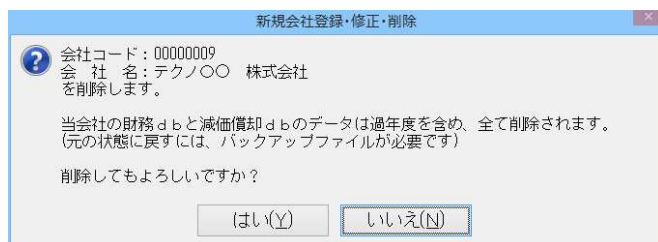


過年度マスターを選択した場合

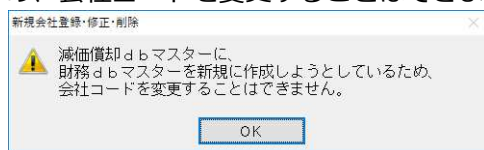


«ご注意»

※管理者で、[新規作成 (F12)]から登録画面を開いた時に [F8 会社削除] を選択した場合は、全マスターを削除します。



- ・減価償却db単独マスターを選択して、新規で社会福祉法人dbマスターを作成時に、会社コードを変更しようとした場合「減価償却dbマスターに財務dbマスターを新規に作成しようとしているため、会社コードを変更することはできません。」とメッセージを表示するようにしました。



- ・社会福祉法人dbマスターの新規作成で、顧問先情報の登録から事業年度を取り込んだとき、30年3月決算であっても29年改正以前のマスターで作成されていたのを修正しました。

4) 科目設定・残高登録

①科目設定/科目名称変更

- ・科目の使用・不使用の切替に Home キーを割り当てるように改良しました。
科目名称や試算表名称でも、Home キーを押すことにより、使用サイン○×の切り替えができるようになります。
残高がある科目の使用サインは変更できないため、[使用切替 Home]は無効にしています。

Ⅲ. 決算

1) 勘定科目内訳書

- ・翌期更新時の勘定科目内訳書マスターのバージョンアップに対応したことに伴い、翌期更新後に、過年度マスターを開いた時は、翌期更新ダイアログ (金額0クリア・金額空欄・保管移動の選択) を表示しないようにしました。

以上